

公演のご案内

チケット好評発売中!!

◆＜室内楽への招待＞ 特別コンサート

ベルチャ弦楽四重奏団&エベーヌ弦楽四重奏団

現代で世界最高峰とされる2つの弦楽四重奏団が共演。弦楽八重奏の名曲を究極のアンサンブルでどうぞ堪能ください。

2025年 3月30日(日) 14:00開演[大ホール]

[曲目] メンデルスゾーン:弦楽八重奏曲 変ホ長調 op.20
エネスコ:弦楽八重奏曲 ハ長調 op.7

[料金] 一般 6,600円(6,050円) 青少年(24歳以下) 2,200円

◆北村朋幹

20世紀のピアノ作品 vol.2 ~1950年以降のヨーロッパ

2022年「20世紀のピアノ作品」で佐治敬三賞を受賞した北村朋幹によるシリーズ第2弾。

2025年 2月15日(土) 15:00開演 [小ホール]

[曲目] ラッヘンマン:こどもの遊び
ベリオ:セクエンツァⅣ ほか

[料金] 一般 3,300円 青少年(24歳以下) 1,650円

■チケット取り扱い・お問い合わせ

びわ湖ホールチケットセンター TEL. 077-523-7136

[10:00~19:00/火曜日休館、休日の場合は翌日。]

びわ湖ホールホームページ <https://www.biwako-hall.or.jp/>

()内は友の会会員料金。全席指定・税込。

BIWAKO
HALL公益財団法人びわ湖芸術文化財団
滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号
TEL.077-523-7133(代)
<https://www.biwako-hall.or.jp/>

※お客様へのお願い

会場内での撮影および録音はできません。

本日の公演では携帯電話電波抑止装置を動作させています。ご了承ください。

医療機器をお使いの方は、状態をご確認いただきますようお願いいたします。

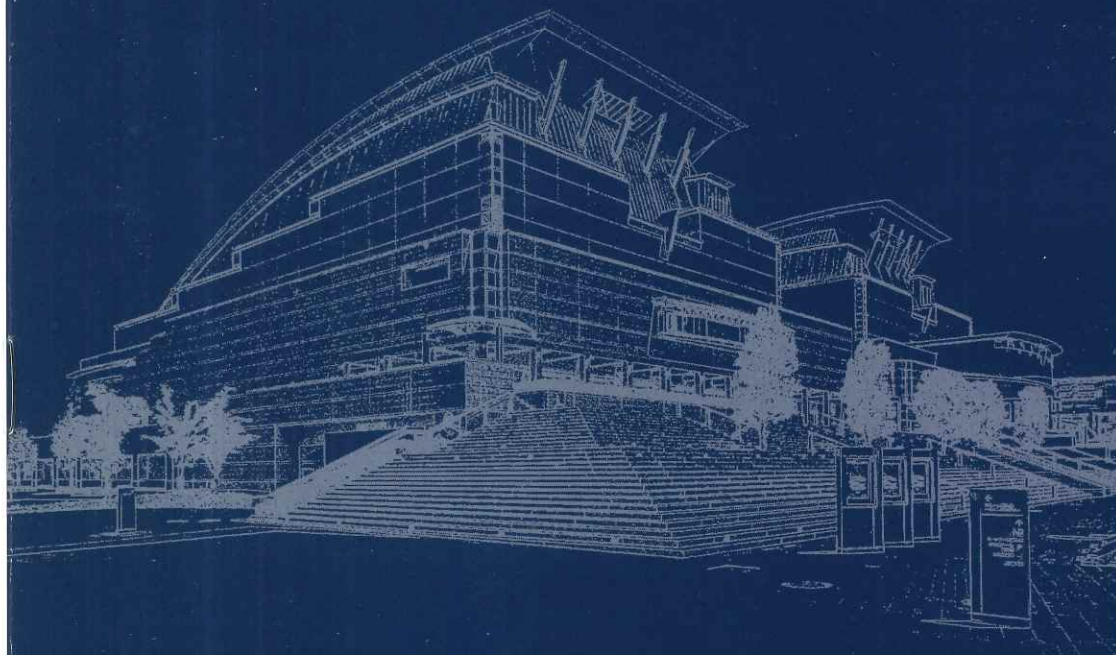
やむを得ない事情により、出演者等が変更になる場合があります。



テレコイルのついた補聴器や人工内耳を使用されている方は、テレコイルモードに切り替えるとヒアリングループを利用した音声をお楽しみいただけます。

＜室内楽への招待＞

クァルテット・インテグラ



滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

＜室内楽への招待＞ クアルテット・インテグラ

2025年1月4日(土) 14:00開演
滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 小ホール

主催：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

助成：文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会
公益財団法人日本室内楽振興財団
協力：日本音楽財団 (日本財団助成事業)



びわ湖ホールオフィシャルスポンサー

叶匠壽庵



平和堂



木の家専門店

谷口工務店

◆出演

クアルテット・インテグラ
Quartet Integra

三澤響果 (ヴァイオリン)
Misawa Kyoka

菊野凜太郎 (ヴァイオリン)
Kikuno Rintaro

山本一輝 (ヴィオラ)
Yamamoto Itsuki

パク・イエウン (チェロ)
Park Ye Un

◆プログラム

◆ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第3番 ニ長調 op.18-3
Ludwig van Beethoven: String Quartet No.3 in D major op.18-3

- 第1楽章 アレグロ
Allegro
- 第2楽章 アンダンテ・コン・モート
Andante con moto
- 第3楽章 アレグロ
Allegro
- 第4楽章 プレスト
Presto

◆三善 晃：弦楽四重奏曲 第2番
Miyoshi Akira: String Quartet No.2

- 第1楽章 1st movement
- 第2楽章 2nd movement
- 第3楽章 3rd movement

～ 休憩 ～

◆ブラームス：弦楽四重奏曲 第3番 変ロ長調 op.67
Johannes Brahms: String Quartet No.3 in B-flat major op.67

- 第1楽章 ヴィヴァーチェ
Vivace
- 第2楽章 アンダンテ
Andante
- 第3楽章 アジタート-アレグレット・ノン・トロッポ
Agitato - Allegretto non troppo
- 第4楽章 ポコ・アレグレット・コン・ヴァリアZIONI
Poco allegretto con variazioni

◆ プログラム・ノート

山田 治生 (音楽評論家)

●ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第3番 二長調 op.18-3

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン（1770～1827）が、習作的な弦楽四重奏曲や弦楽三重奏曲の探究を経て、初めての弦楽四重奏曲をop.18の6曲の形で出版したのは1801年のことであった。本日演奏される二長調の弦楽四重奏曲は第3番となっているが、op.18の6曲の中で最初に完成されたのがこの作品であり、続いて弦楽四重奏曲第1番が書き上げられた。ベートーヴェンの熱心なパトロンの一、ロプコヴィッツ侯爵に献呈されたop.18は、どれもハイドン、モーツァルトにない、4楽章形式を踏襲しているが、最初に書かれた第3番はもっとも古典的な佇まいであるといえるだろう。

第1楽章：アレグロ。冒頭、第1ヴァイオリンが全音符の7度跳躍で始まる第1主題を提示する。第2主題は4つの楽器によるアクセント（スフォルツァンド）の効いたもの。

第2楽章：アンダンテ・コン・モート。第1主題はまず第2ヴァイオリンによって示される。第2主題はヴァイオリンの短い音符による軽快なやりとり。

第3楽章：アレグロ。スケルツォ的な性格を持った楽章。中間部では短調に転じる。8分音符による速い動き。

第4楽章：プレスト。駆け抜けていくようなフィナーレ。冒頭、第1ヴァイオリンが8分音符による軽快な動きの第1主題を提示する。突然、「運命」を先取りするような4つの音による動機がffで現れる。

●三善 晃：弦楽四重奏曲 第2番

三善 晃（1933～2013）は東京生まれ。幼い頃から音楽の手解きを受け、4歳から平井康三郎に作曲を学ぶ。東京大学文学部仏文科在学中の1953年に、クラリネット、ファゴット、ピアノのためのソナタで日本音楽コンクール第1位獲得。1954年に作曲したピアノと管弦楽のための協奏交響曲が尾高賞を受賞。1955年から57年までパリ国立高等音楽院に留学。その後、「レクイエム」（1972）、チェロ協奏曲（1974）、「詩篇」（1979）、「響紋」（1984）などを発表。桐朋学園大学学長、東京文化会館館長などの要職を歴任する。1999年にはオペラ「遠い帆」が初演された。

弦楽四重奏曲第2番は、日本放送（ニッポン放送）の委嘱で1967年8月に書き上げられた。1967年11月25日に日本放送によって巖本真理、多忠明、江戸純子、黒沼俊夫の演奏で放送された後、1968年1月28日、巖本真理弦楽四重奏団によって東京文化会館小ホールで初演されている。3つの楽章からなる15分ほどの作品。

三善は、古典的な形式と自分のうちにあるロマン的なものを確かめる必要を感じて作曲したと述べている。

第1楽章：速度は♩=132と記されている。複雑かつ緻密に書かれていて、聴取から認識することは容易ではないがソナタ形式によっている。冒頭、第1ヴァイオリンが音程の跳躍を含む第1主題を提示する。第2主題は第2ヴァイオリンらによって穏やかに示される。

第2楽章：3つの部分からなる緩徐楽章。主部は♩=82、中間部で♩=69にテンポを下げ、大きな高揚のあと、音楽は静かになって再び♩=82に戻る。

第3楽章：速度は♩=176。楽章は4つの部分に分けられる。まずチェロで楽章が始まり、第2部ではチェロのロングトーンによって第1ヴァイオリンがスル・ボンティチェロで金属的な音を発する。第3部は第2ヴァイオリンとヴィオラの3連符が印象的。第2ヴァイオリンがpからffffに音量を上げたあと、第4部となる。最後はラメンタービレと指示されたフレーズを第1ヴァイオリンが弾き、静かに締め括られる。

●ブラームス：弦楽四重奏曲 第3番 変ロ長調 op.67

ヨハネス・ブラームス（1833～1897）は、20曲以上の習作の弦楽四重奏曲を書いたあと、漸く、40歳になった1873年に弦楽四重奏曲第1番と第2番をop.51として発表した。弦楽四重奏曲第3番op.67は、1875年に交響曲第1番op.68と並行して作曲された。ブラームスは、1875年4月にウィーン楽友協会の音楽監督を辞任し、ハイデルベルク近郊のツィーゲルハウゼンに滞在してこの弦楽四重奏曲第3番を作曲したのであった。そして、同年10月30日にウィーンで初演。この作品は、結果的に、ブラームスにとって最後の弦楽四重奏曲となった。

第1楽章：ヴィヴァーチェ。まず第2ヴァイオリンとヴィオラが2小節で8分の6拍子の弾むような第1主題を導き、全員がそれに続く。滑らかな第2主題は第2ヴァイオリンとヴィオラに出る。その後、4分の2拍子での8分音符と16分音符によるリズムミッドな音楽が挟まれる。

第2楽章：アンダンテ。ゆったりとしたレガートの主部で第1ヴァイオリンが伸びやかに歌う。中間部は16分音符の前打音を活かした劇的な音楽。

第3楽章：アジタート、アレグレット・ノン・トロppo。冒頭、ヴィオラが悲哀を帯びた旋律を奏でる。中間部では、ヴィオラが低めの音域で歌い始める。

第4楽章：ポコ・アレグレット・コン・ヴァリアツィオーニ。主題と8つの変奏と結尾からなる。最初に、穏やかな主題が提示され、それが変奏されていく。終盤、第7変奏で第1楽章の第1主題が再び現れ、第4楽章の主題とともに、全曲が締め括られる。

◆プロフィール

クアルテット・インテグラ Quartet Integra



© Abby Mahler

2015年桐朋学園に在学中に結成。第71回ミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門第2位&聴衆賞受賞。バルトーク国際コンクール弦楽四重奏部門第1位。第8回秋吉台音楽コンクール弦楽四重奏部門第1位、ベートーヴェン賞、山口県知事賞(グランプリ)を受賞。国内ではサントリーホールを含む全国各地でリサイタルを行い、2023年1月から第一生命ホールにてベートーヴェン、バルトーク、ブラームスを取り上げたりサイタルシリーズが、2024年よりトッパンホールと王子ホールでも新たなシリーズを始める。

海外ではこれまでにラホヤ・ミュージック・ソサエティ・サマーフェスト、キジアーナ国際フェスティバルに出演する他、ニューヨーク、ロサンゼルス、フランクフルト、バート・テルツ、フィレンツェ、ナポリ等でもリサイタルを行う。また、オーガスティン・ハーデリッヒ、ノア・ベンディックス=バルグリー、イノン・バルナタン、ファビオ・ビディーニ、エルサレム弦楽四重奏団らとの共演でも好評を博す。

NHK「ベストオブクラシック」、「クラシック倶楽部」、「リサイタル・パッショ」、「らら♪クラシック」等に出演。

磯村和英、山崎伸子、マーティン・ビーヴァー、ジョナサン・ブラウン、クライヴ・グリーンズミスに師事。桐朋学園を経て、2018年から4年間サントリーホール室内楽アカデミーに在籍し、現在ロサンゼルス・スクールのレジデンス・アーティストとして在籍。

公式HP: <https://quartetintegra.com>

三澤響果 (ヴァイオリン) Misawa Kyoka

第16回チェコ音楽コンクール第1位。第66回全日本学生音楽コンクール東京大会第2位、全国大会第3位。これまでに佐々木歩、原田幸一郎に師事。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ・コースを経て、現在、コルバーンスクールにてマーティン・ビーヴァーに師事。使用楽器は日本ヴァイオリンから特別貸与された1728年製Alexander Gagliano。

菊野凜太郎 (ヴァイオリン) Kikuno Rintaro

第66回全日本学生音楽コンクール東京大会第1位。2017年度青山音楽財団奨学生、19・20年明治安田クオリティオブライフ文化財団音楽学生奨学生。これまで向山敦子、森川ちひろ、辰巳明子に師事。桐朋学園大学に特待生として入学し、同大学を首席で卒業。現在、コルバーンスクールにてマーティン・ビーヴァーに師事。

山本一輝 (ヴィオラ) Yamamoto Itsuki

毎年ピアニストの松田龍とリサイタルを行い、石島正博『無伴奏ヴィオラの為のソナタ』を世界初演するなど、新曲の初演に意欲的に取り組んでいる。また作曲家として、『二胡とヴィオラの為のショートショート』(2021)、『無伴奏ヴィオラの為の奏鳴曲』(2023)が初演されている。ヴィオラを佐々木亮、Tatjana Masurenkoに、作曲を石島正博に師事。桐朋学園大学を卒業し、現在コルバーン・スクールに在籍。

パク・イエウン (チェロ) Park Ye Un

12歳で韓国のクムホ神童コンサート・シリーズでデビュー。5歳からチェロを学び、イエオン・アーツ・スクールにてオ・ジヒョンに学ぶ。14歳でコルバーン音楽院に進み、現在は同音楽院学士課程クライヴ・グリーンズミスに師事。韓国の複数の主要コンクールで優勝。室内音楽奏者としても活動しており、ジャン=イヴ・ティボーデ、クライヴ・グリーンズミス、レイ・チェンらと共演。また、2023年キジアーナ音楽院にて「ロータリー・クラブ・シエナ」賞を受賞したトリオ・アズーラの創立メンバー。

連携企画

守山市民ホール公演

リサイタル・アンサンブル シリーズ vol.9 クアルテット・インテグラ

日時: 2025年 1月5日(日) 14:00開演(13:30開場)

会場: 守山市民ホール・小ホール

チケット発売中!

チケット料金[全席指定・税込]

一般 3,000円 25歳以下 1,500円 ※小学生以上入場可

プログラム: ハイドン: 弦楽四重奏曲 二短調 op.76-2「五度」

バルトーク: 弦楽四重奏曲 第3番

ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第9番 八長調 op.59-3

「ラズモフスキー第3番」

※当日公演終了後にポストトークを予定しております。

主催・問い合わせ: 守山市民ホール TEL077-583-2532

(9:00~17:00、火曜日と祝日の翌日は休館)

<https://moriyamabuntai.com/wp/>